



民児協いばらき

☆民生委員・児童委員徽章は、幸せのクローバーに「み」の文字と双葉で鳩をかたどり愛情と奉仕を表しています。

2023年(令和5年)1月15日 第90号



酒沼の来光 (茨城町)

目次

- 新春のごあいさつ (会長) 2
- 第41回茨城県民生委員児童委員大会
開催報告..... 2
- 新年あいさつ (知事) 3
- 全国民生委員児童委員大会に参加して... 3
- 関東ブロック民生委員児童委員活動
研究協議会に参加して..... 4
- 県民児協主催の研修会報告..... 4
- 単位民児協版活動強化方策について..... 5
- 地区民児協だより
 - ・ 那珂市..... 6
 - ・ 鹿嶋市..... 6
 - ・ 石岡市..... 7
 - ・ 境町..... 7
- 事務局だより..... 8
- 編集後記..... 8

新春のごあいさつ



県民児協会長 倉持嘉男

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

民生委員・児童委員は、永年にわたり社会的孤立状態にある人や、生活困窮者自立支援制度においても、支援への「つなぎ」役として、大きな期待が寄せられています。地域住民が抱える課題が複雑化、多様化し、民生委員・児童委員への期待が高まる一方、委員の活動上の負担が拡大しています。そうしたなか民生委員・児童委員のサポート体制や関係機関との連携協力体制の確立といった活動環境の整備は重要な課題です。

近年、少子化や核家族化の常態化、人間関係の希薄化等のなかで、子どもや、子育て家庭をめぐる課題は多様化、深刻化しています。

児童虐待や貧困、不登校、いじめ、引きこもりをはじめ、外国籍の子どもへの対応なども顕在化しています。そうしたなかにあつて、住民の身近な存在である児童委員の活動への期待が一層高まっています。子どもの問題の背景には、家庭の問題があると思います。

今年四月一日から「子ども家庭庁」が設置されますが、民生委員・児童委員の発展の起爆剤として、地域の視点を磨いていくことで地域社会づくりを進めていくことが大切なことと考えます。

結びに活動に対してご協力をお願い申し上げます。皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

第41回茨城県民生委員児童委員大会開催報告

県民児協評議員 富田博美

第41回茨城県民生委員児童委員大会が令和4年10月14日午前10時より、ザ・ヒロサワシティ会館大ホールに於いて、約700名の参加により開催されました。

大会に先立ち、苗字研究家で大子町出身の高信幸男氏による「楽しい名字のお話」名字には隠れた日本文化がある」との演題で講演がありました。名字の雑学・日本の珍名等々、興味深い話に引き込まれてしまふ内容で、時間があつという間に過ぎてしまいました。

式典は宇佐美副会長の開会の言葉で始まり倉持会長の主催者挨拶では、7・8月の集中豪雨、9月の台風等により、尊い人命をなくされた方々やご遺族に哀悼の意を述べられました。新型コロナウイルスが発生して以来、3年間不自由な生活を強いられています。多くの感染者により、私たちの活動も制約を受け、十分なサポートがでない状況にあります。今後は、研修の充実を図り、安心して活動が

できるようなサポートして参りたいとの内容でした。

顕彰においては、個人表彰は、県内5ブロックのそれぞれの代表者、団体表彰者は、2団体の代表者が受取り、それ以外の表彰は無言で起立となりました。

来賓祝辞は茨城県知事、茨城県社会福祉協議会会長、来賓は、茨城県共同募金会会長のご臨席を頂きました。新型コロナウイルスの感染防止対策が徹底された中での意義深い大会となり、幕を閉じました。



新年あいさつ



茨城県知事 大井川 和彦

新年あけましておめでとうございます。

民生委員・児童委員の皆様には、日頃から地域住民の方々に対する様々な相談や援助活動を通して、社会福祉の向上に多大なご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年12月には一斉改選が行われ、再任された皆様、新たに委嘱された皆様には、本県の地域福祉の推進役として、一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症も、現在では重症化率が大幅に低下し、コロナと共生し社会経済活動の正常化を目指す段階への転換期を迎えております。一方で、昨年は、ロシアによるウクライナ侵略や世界的な物価高騰、歴史的な円安などの出来事が相次ぎ、さらに、日本の出生数は過去最少となるなど急速に人口減少が進み、私たちは過去の延長線上に未来は存在しない、まさに先の見えない「非連続の時代」の只中にあります。

こうした状況では、新しいことに果敢に挑戦し、未来を切り拓いていくことが極めて重要であり、まず「選択と集中」「挑戦」「スピード感」を基本姿勢として、コロナ対策や経済対策を実施するとともに、困難な政策課題にも取り組んでまいりました。その結果、戦略的な企業誘致により、県内外企業立地件数が5年連続全国第1位となるほか、儲かる農業の実現に取り組み、農産物の輸出額が就任前の約8倍となるなど、各分野で着実に成果を上げ、「やればできる」ことを証明してまいりました。

今後とも、県民の命と健康、そして暮らしを守るため、コロナの感染拡大防止と社会経済活動の本格化に向け全力で取り組み、「県民幸福度No.1」の実現に向けて挑戦してまいりますので、なお一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

結びに、茨城県民生委員児童委員協議会の更なるご発展と、皆様お祈り申し上げます。

全国民生委員児童委員大会に参加して

県民児協理事 中野 傳功

コロナ感染が未だ収まらないなか、澄み切った秋空のもとで、第91回全国民生委員児童委員大会が10月19日、20日の2日間、名古屋市の国際会議場において全国から2600余名の民生委員・児童委員が参集して盛大に開催されました。本県からは倉持会長以下25名が参加されました。

初日は、「名古屋おもてなし武将隊」の演武で、私たちが歓迎していただき、式典では愛知県民児連会長の開会あいさつ、全民児連会長の式辞、主催者のあいさつと続き、その後は各賞の表彰に移り、茨城県では永年勤続単位民児協会長で2名、永年勤続単位民児協役員表彰で4名、民生委員・児童委員功労者表彰で79名が表彰を受けられました。

特別講義では「みんなの幸せのために」に寄り添い助け合う社会」をテーマに、カレーハウスCOO 梶番屋 創業者の宗次 徳二氏の講演があり。私財を抛出して造ったクラシック専用の「宗次ホール」での

コンサート会の重要性をソフトに語ってくれました。

2日目は、9の活動交流集会とシンポジウムが各会場に分散し開催されました。私たち5名は「高齢者が安心して暮らし続けることができる地域づくり」テーマの交流集会に参加し、3人の事例発表があり、名古屋市の方の「サロン活動を通じたみんなので支えあう地域づくり」の発表は必要性を感じました。



関東ブロック

民生委員児童委員活動研究協議会に参加して

県民児協理事 菊地 則行

令和4年7月28日、29日の両日、静岡県浜松市アクトシティ浜松とホテルクラウンパレス浜松にて、第82回関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会が、関東ブロックの10都県と8市から代表者(本県からは倉持会長他8名が参加)が集まり、開催されました。

1日目は、開会の式典の後、全国社会福祉協議会民生部部長の熊坂淳氏による基調報告がありました。

報告では「民生委員・児童委員活動を取り巻く動向」として、こども家庭庁の創設による変化や、社会問題化している孤独・孤立対策の動向について報告されました。また、全民児連事業の実施状況については、全国1万人への民生委員・児童委員に関する意識調査結果や、地域共生社会の実現に向けた行動指針、「災害時要援護者支援」と民生委員・児童委員活動、全民児連令和4年度事業計画などの話がありました。中でも災害時要援護者支援に関して、民生委員への過度な負担が懸念される中、

民生委員の役割は、平常時の体制整備への協力を基本にし、発災時には、委員本人と家族の安全確保を最優先に、「災害に備える民生委員・児童委員活動に関する指針」の改訂をしていくという話は印象的でした。

2日目には、4つのテーマで分科会が開かれ、それぞれ4人の実践報告を受けて、質疑応答や意見交換が行われました。本県からは第1分科会で、県民児協の羽成利広理事が大いに参考になる発表をされ、全体を通し大変有意義な研修会でした。



◆県民児協開催の研修会報告

▼市町村民生委員児童委員協議会
会長・副会長合同研究協議会(班別)



令和4年度会長・副会長合同研究協議会(班別)が、県北・県央・鹿行地域(6月16日、17日)県南・県西地域(6月30日、7月1日)の2回に分け、124名が参加して、大洗シーサイドホテルにおいて開催されました。

1日目は、泉恵造研修企画工房 泉恵造氏による「組織の灯台を目指そう!」有意義なバトンタッチを進めていくために!」と題した講義がありました。続いて、グループ討議を行いました。

2日目は、行政講話として県警組織犯罪対策課から「ニセ電話詐欺の

被害防止対策について」、県防災・危機管理課から「自主防災組織の活動」、高次脳機能障害支援センターから「高次脳機能障害及び茨城県高次脳機能障害支援センターの業務内容について」の講話がありました。

▼その他3回の研修会



7月22日に主任児童委員研修会(講師:二井矢句子氏、3地区の活動報告、267名参加)、8月31日に全体研修会(講師:松藤和生氏、551名参加)、9月28日に前回6月の研修に参加されなかった会長・副会長を対象とした会長・副会長合同研究協議会(講師:泉恵造氏、237名参加)を、いずれもザ・ヒロサワ・シティ会館において開催しました。(県民児協事務局)

単位民児協版活動強化方策について

県民児協事務局

単位民児協版活動強化方策の作成マニュアル（以下「マニュアル」といいます。）については、体裁を新たに整えた令和4年版を令和4年7月5日に各市町村民児協会長あて送付したところです。

このマニュアルについて、土浦市民生委員児童委員協議会連合会の依頼により、令和4年8月5日に同連合会理事会において約20名を対象に、マニュアルを使った単位民児協版活動強化方策（以下「方策」といいます。）の作成方法やその意義について説明しました。

説明後の理事の方々との質疑応答の概要は別表1のとおりであり、いろいろな質問をいただきました。

一方、令和4年8月から10月にかけて県内の全単位民児協を対象として、12月の一斉改選前のマニュアルの利用状況を調査し、併せて方策やマニュアルについてのご意見もいただきました。

この結果をとりまとめたものは、各市町村民児協の会長さんに報告しました。その概要は別表2のとおりであり、何らかの形でマニュアルを

利用した団体が14団体（12・5％）であり、そのうち1団体が既に「方策」を作成していました。

また、今後マニュアルの利用を検討している団体が37団体（33・0％）ありました。

各会長さんから寄せられた主なご意見は別表3のとおりであり、方策やマニュアルについて様々な考えをもっていることがわかりました。

土浦市での質疑において回答しましたとおり、方策の作成とマニュアルの利用は、強制的なものではありませんが、単位民児協の中で、委員活動を支援する大きなツールになるものと考えていますので、マニュアルを上手に活用していただき、それぞれの活動強化に結び付けていただきたいと思います。

県民児協は、これらの結果を参考に、各単位民児協の活動をどのように支援していくことができるか検討し、一斉改選後に改めて方策の考え方やマニュアルの活用方法についてご説明をしていきたいと考えています。

別表1 土浦市民児協理事との主な質疑

質問	回答
1 方策は毎年作成するものなのか。また、作成に係る日数はどのくらいか。	方策は、毎年の事業計画や事業方針に反映できることも想定しているため、毎年作成する必要はない。作業日数はマニュアルのモデル地区で半年ほどであった。
2 気になるシート整理表をまとめて意見を集約するのは大変なので、提出してもらったシートをもとに話し合うことでもいいか。	気になるシート整理表は誰に公表するのか。問題を定例会で話し合えばいいのか。
3 気になるシート整理表は誰に公表するのか。問題を定例会で話し合えばいいのか。	気になるシート整理表は個人名が記載されない様式になっているので、そこに記載された課題や問題点を各委員が話し合う材料として使ってもらって差し支えない。
4 方策は作成しなければならぬのか。	作成を義務づけるものではない。

別表2 県内民児協への調査結果

回答内容	回答数		構成比%
	回答数	構成比%	
1 マニユアルを利用 方策作成済 方策作成中 内訳 気になるシートを分類整理済 気になるシートを配付、提出済 マニユアルの利用を検討中 マニユアル利用の予定なし 方策作成済み（マニユアルモデル地区） その他	14 1 1 7 5 37 55 1 5 112	12・5 12・5 12・5 33・0 49・1 0・9 4・5 100・0	
合計	112	100・0	

別表3 県内民児協への調査結果（各会長からの主な意見）

主な意見
1 方策の策定にあたっては、会長だけでなく各委員の理解を得ないと前に進まない。県の事務局と相談していきたい。
2 定例会で提出された気になるシートについての事務局からの回答により相談・支援の統一化が図られた。
3 提出された気になるシートにより新たな課題が認識され、その解決が図られた。
4 気になるシートを事例研修に利用している。
5 委員のなり手がいない状況のなかで、何を強化するのか、方策は必要なのか。

協 だ よ り

那珂市

那珂市民児協の活動について

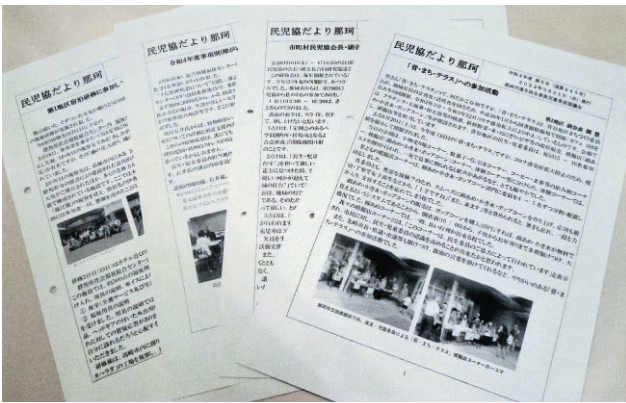
那珂市連合民児協会長 大和田 優

那珂市連合民生委員児童委員協議会は、三つの単位民児協で構成されています。全体の定数は主任児童委員六名を含む百五名です。今期は、スタート時からコロナ禍に翻弄され、定例会や研修会が計画的に推進できませんでした。地域や個々の活動も制限されるなど、苦慮する場面が多かったように思います。

那珂市民児協では、広報紙「民児協だより那珂」を毎月発行しております。各種研修会に参加しての感想や単位民児協が実施した活動内容の報告など、さらには自由投稿や連絡事項、折々の写真等も掲載し、読みやすいように工夫しています。投稿していただいた原稿は、編集委員会(七名)で確認校正し、原則として毎月の定例会時に発行配付できるように努めています。十月現在で二百四十五号を数え、二十年余り継続してきている特色ある活動です。今後とも、委員同士の情報共有や士気高揚に生かしていきたいと思えます。

団塊の世代が後期高齢者となり、ひとり暮らし高齢者が増加の一途をたどっている昨今、私たち委員の担う役割も増してきています。

新型コロナウイルス感染症が一向に収束しない中、十二月一日には一斉改選を迎えました。地域のひとり暮らし高齢者や子どもたちが安心して過ごせるよう、身近な相談相手として、関係機関へのつなぎ役として、その立場や使命を踏まえ、心新たに活動していきたいものです。



鹿嶋市

鹿嶋市民児協の活動について

鹿嶋市連合民児協会長 大崎 春三

鹿嶋市は、東に鹿島灘、西に北浦を臨み、豊かな自然と美しい景観が多くみられ、製鉄業を中心とした基幹産業と共に急速に発展してきました。

一方で、近年高齢化が進行し、令和2年には、全世帯の46・5%が高齢者を含む世帯、高齢者独居世帯も11・9%となるなど、高齢者の見守り体制の充実や災害時の避難体制の整備が課題となっております。

このような状況の中、鹿嶋市連合民児協は、3つの単位民児協の下、97名体制で、住民の一番身近な相談相手として、高齢者に接すること、子どもや子育て家庭への相談活動等を展開しています。

また、毎月単位民児協毎に定例会にて、事例や情報を共有、課題解決協議と共に、各分野の講師を招いての研修を実施、「ヤングケアラー問題」や「ゲートキーパー講習」、最近では、「里親制度」など、新たな福祉課題の把握に努めています。

3年前から続く新型コロナウイルス感染症対策として、三密を回避した「新しい生活様式」を取り入れて一人暮らし高齢者への訪問、見守り活動等を、鹿嶋市独自の地域福祉推進委員と連携を図り、ウィズコロナ時代に合わせて民生委員・児童委員活動を推進していきたいと考えています。

今後も、ともに支えあい、助けあうなかで、誰もが住み慣れた地域で安心して生活できる「地域共生社会」づくりの一助となるよう、鹿嶋市民生委員・児童委員一丸となって地道な活動に努めます。



地 区 民 児

石岡市

石岡市府中地区民児協の活動について

石岡市府中地区民児協会長 金子隆二

石岡市は、茨城県を中心に位置し、人口が約7万2千人で、民生委員・児童委員は、5地区163人で活動しています。

その中で、当府中地区は中学校1校、小学校3校の地区で、主任児童委員2名を含めた32名で活動しています。地区の特徴は、住宅地と農村地帯、工業地帯の混在で、世帯数は約7740世帯、一人暮らしの高齢者世帯数は1427世帯となっています。

当地区では、高齢者をはじめ地域住民に対し、公平かつ迅速な支援が行えるよう、月に一回の定例会において、行政サービスや社協が行っている活動について、知識習得を行い、スキルアップに努めています。

しかし、地域コミュニティの希薄が進んでいる現状において、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、自宅訪問による、ひとり暮らし高齢者の見守り支援や、気になる家庭への支援など制限を受け、本来の活動が出来ない歯がゆい状況が続いており、「新しい生活様式」を踏まえた活動の在り方を模索しています。

コロナ禍にあっても、私たち民生委員・児童委員は、地域住民の立場に立ち、地域の身近な相談相手として、行政・社協をはじめとする関係団体と連携し、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指して行きたいと思っています。



境 町

境町民児協の活動について

境町民児協会長 猪瀬晴男

境町は、埼玉県と千葉県に隣接し、利根川と江戸川が合流する分岐点にあたり、古くは利根川水運を生かした文化交流の場として栄えた「河岸のまち」です。

近年、「河岸の歴史と自然の恵みあふれる、次世代を育む安らぎとイノベーションのまち」をテーマに自治体初の自動運転バス運行など、最先端の技術を取り入れた事業が盛んで、高齢者にも子育て世代にも、快適に暮らせるまちとして注目されています。

当町の民生委員児童委員協議会は、男性31名、女性16名の合計47名(うち主任児童委員3名)で構成され、各委員は4部会(生活福祉・児童福祉・障がい福祉・高齢福祉の各部会)に所属し活動しています。

新型コロナウイルスが発生して3年目になり、新任委員への研修会、地域での活動も制限されるようになり、本来の民生委員の活動も思うようにできない状況であります。

このような状況の中でも、地域住民の一員として、担当の地域において高齢者や障がいのある方の安否確認や見守り、子供たちへの声掛けなどを行っております。そのほかにも、医療や介護の悩み、妊娠や子育ての不安、失業や経済的困窮による生活上の心配ごとなど、様々な相談に応じ、相談内容によって必要な支援が受けられるよう、地域の専門機関とのつなぎ役になります。これからも、少しでも地域住民の為になるよう委員間で協力して貢献していきたいと思っています。



事務局だより

祝受賞

この度、次の方が栄えある叙勲・褒章を受けられました。心からお祝い申し上げます。(敬称略)

○叙勲

瑞宝単光章

勝間田 菊江 (日立市・元)

○褒章

藍綬褒章

坂 稔 (かすみがうら市・元)

令和四年度

一斉改選の状況について

茨城県福祉政策課と水戸市福祉総務課から今年度の一斉改選に関する資料を提供していただきましたので、ご紹介します。

県内の民生委員・児童委員の定数は、別表1のとおり前回改選時の5291名から18名増員されて5309名となりました。

また、今回の改選では委嘱数が5138名で欠員が171名となり、欠員に対する充足率は96・8%となりました。前回改選時と比較すると、

欠員数は増加し、充足率は低下しました。

別表1 定数と委嘱数

年度	区分	定数	委嘱数	欠員	充足率
R 4	地区担当	4975	4810	165	96.8%
	主任児童委員	334	328	6	
	計	5309	5138	171	
R 元	地区担当	4965	4281	144	97.1%
	主任児童委員	326	319	7	
	計	5291	5140	151	

別表2 新任と再任の別

年度	新任	再任
R 4	1649	3489
	32.1%	67.9%
R 元	1688	3452
	32.8%	67.2%

※元職は新任に含む

新任・再任別で見ると別表2のとおり新任者が1649名(32・1%)、再任者が3489名(67・9%)となっており、前回改選時と比較すると、新任者の比率が減り、再任者が増えました。

別表3 平均年齢と年齢構成

年度	平均年齢	20歳代と30歳代	40歳代と50歳代	60歳代	70歳以上
R 4	68歳	4(1)	363	2546	2225(342)
	比率	0.0%	7.1%	49.6%	43.3%

※R元年度一斉改選時の平均年齢は67歳
※「20歳代と30歳代」の()内は20歳代の内数、「70歳代以上」の()内は75歳以上の内数

平均年齢は、別表3のとおり68歳で、前回改選時より1歳上がりました。内訳をみると20歳代の委員1名が就任したほか、70歳代以上が2225名(43・3%)、特に75歳以上の委員が342名(6・7%)となっております。

編集後記

「いい塩梅(あんばい)」とは、もともと「塩」と「梅酢」(梅を塩に漬けた時にできる酢)に味加減が丁度良いとされるのが語源とされています。物事をうまく配置、処理するという意味の「按排(あんばい)」とが混同された意味のようです。

民生委員・児童委員は昨年十二月、全国一斉改選で新任・再任されたの新たなスタートとなりました。高齢者等への訪問は支援であったり、話し相手として歓迎され、私たちの活動の貴重な地域情報源です。一方で「来ないで欲しい」と迷惑とする方がいます。又、子どもの貧困、いじめ、不登校、虐待等子どもを取り巻く環境が社会問題化して、新たな役割が生じています。

私たち民生委員・児童委員は家庭等の実態把握、支援のために「訪問活動」は欠かせません。私は前任者から「いい按排」という言葉を引き継ぎました。新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中で、活動における「いい按排」を見出したいものです。(東ヶ崎静仁)

発行人
 一般財団法人
 茨城県民生委員児童委員協議会
 会長 倉持嘉男

 〒310-0851 水戸市千波町1918
 セキショウ・ウェルビーイング福祉会館内
 (茨城県総合福祉会館)
 TEL 029-243-0887
 FAX 029-243-5902
 URL: <https://www.ibaraki-minjikyo.or.jp>
 E-mail: iba-minjikyo@bz01.plala.or.jp